



議会だより

2012年10月22日発行
(平成24年)

Vol.116

山形県白鷹町議会

9月定例会

しらたか



通年予算特別委員会が始動 . . . ②～③p

- 23年度決算を全会一致で認定 4～5p
- 町への質問・提言 10～11p
- 予算編成に向け政策提言 12p

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

よーいどん (あらと保育園の運動会)

委員会が始動

変わりました

9月定例会

通年の予算特別委員会を設置して初めて、補正予算の質疑がありました。以前と同様の補正予算書と新たに補正予算説明書の概要も配布され、本会議場で説明を受けた後に質疑応答となりました。このことで、詳細な説明が町民の方にも伝わるようになります。

平成24年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		2億1487万円	82億4911万円
特別会計	下水道	▲117万円	5億1892万円
	農業集落排水	158万円	1億4622万円
	介護保険	2362万円	15億3650万円
企業会計	水道	▲63万円	2億9747万円

平成24年9月定例会は、9月6日から14日までの9日間の会期で開かれました。本会議に提出された議案は、23年度各会計歳入歳出決算10件のほか、条例4件、24年度各会計補正予算5件などですが、審議の結果、原案のとおり可決しました。地方財政の充実・強化を求める請願は全会一致で採択、継続審査となっていた消費税10%への増税中止についての請願は不採択となりました。

一般質問には、2名の議員が当面する町の問題点や課題をたどしました。任期満了の教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、人権擁護委員の人事案件には、全会一致で同意しました。



子ども達の健やかな成長のために議会は尽力します（あらと保育園の運動会）

通年予算特別

質疑

議員 将来にわたっての財源確保ということ
で積立をしていると思う。平成24年度残高見込額が8億4387万円とあるが、積立の根拠や今後の見通しを伺う。

当局 将来負担比率は、一定の規模を確保し必要あれば取り崩す
のぐらい確保したかも数値の基礎になる。安定的な対応をするためには、一定の基金を確保しておかないと財政運営も非常に厳しくなる。
有利な財源がない事業でもしなければならぬという状況

※ 予期しない収入減少や支出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うため、財源に余裕のあるときに積み立てるもの。
積立金は①経済事情の著しい変動による財源不足②災害による経費の財源や減収③緊急に実施必要となった大規模な土木、建設事業の経費など④長期にわたる財源の育成のための財産取得⑤地方債の繰り上げ償還に充てるときに処分される。

況があり、一定の規模を確保し、必要があれば取り崩すという規律ある財政運営と考える。

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは、
財政調整基金積立 1億円
 - 放課後児童クラブ耐震改修支援事業 210万円
 - 統合中学校整備の実施設計委託料 2100万円
 - 東中学校校舎耐震補強工事の実施設計委託料 546万円
 - ポリオワクチン予防接種事業 506万円
 - 町道維持補修費 1000万円
 - 河川水路維持事業費 200万円
- 財源は国・県支出金、繰越金、町債などで対応します。

総額82億4911万円となる

一般会計

財政調整基金積立などに
2億1487万円を追加



子ども達の未来のために議会は前進します
(あゆかい保育園の運動会)

認定

平成23年度決算は、9月10日に決算特別委員会(議長と監査委員を除く12人)を開会し、10会計を審査しました。

9月14日の本会議で、採決の結果、全会一致で認定しました。



平成23年度各会計決算額表				
会計項目	歳入(町の収入)	歳出(町の支出)		
一般会計	83億 202万円	77億4910万円		
特別会計	十王財産区	77万円		
	下水道	5億4098万円	5億2699万円	
	国民健康保険	16億1610万円	15億2963万円	
	農業集落排水	1億4271万円	1億3677万円	
	介護保険	14億2230万円	14億 998万円	
	後期高齢者医療	1億2982万円	1億2877万円	
企業会計	水道	収益的収支	3億 787万円	2億7646万円
		資本的収支	1369万円	1億6063万円
	病院	収益的収支	11億 352万円	10億9439万円
		資本的収支	1000万円	1億5736万円
	訪問看護ステーション	収益的収支	3094万円	3133万円
		資本的収支	0	364万円
合計	136億2072万円	132億 524万円		

※万円未満は端数を整理しています。

討論

賛成討論 山田 仁議員

平成23年度の一般会計は歳入83億202万円に対し、歳出77億4910万円、差引5億712万円となり、黒字決算となりました。黒字決算は結構なことですが、町税などの自主財源が依然として脆弱であること、特に地方交付税が人口減少などの影響により2.9%減少したことは、今後の施策の重要なポイントと考えます。一方、公債費負担比率は0.5ポイント改善し、18.7%と着実に減少したことは評価します。

山田の実現、統合保育園も建設中で、民設民営の方針を着実にすすめております。また、荒砥橋の架け替え、荒砥高校の存続に目途がついたことも、町民あげての取り組みが実を結んだものであり評価します。

昨年度は豪雪に見舞われ、除雪費用も補正予算を組むなど大きな支出となりました。内容を点検しながら、よりよい行政サービスになるよう要望します。

総じて、平成23年度は、各施策において、遅滞無く実施されたものと判断し、決算承認するに賛成とします。

全会一致で決算

平成23年度に行った主な事業

障害福祉サービス費	1億9208万円
介護基盤緊急整備補助金(マイスカイ中山)	1億2528万円
統合保育園整備事業	1億5559万円
しらたか元気っ子事業	1650万円
中山間地域等直接支払い事業	8792万円
住宅需要拡大促進事業	1770万円
道路改良事業(赤坂深山線)	6242万円
東中学校体育館の地震補強工事	1522万円
学校給食施設整備工事	952万円
荒砥高校新入生応援事業	345万円



しらたか元気っ子達の稲刈 (あらと保育園)

どうなるの まちの財政力

区分・年度	23年度	22年度	21年度	説明
財政力指数	0.247	0.257	0.268	1.00に近いほど余裕がある。
経常収支比率	90.3	88.9	93.2	70%に収まるのが妥当。80%を超えると危険ライン。
自主財源比率	26.1	23.8	24.5	町税、固定資産税など自ら調達できる財源。
実質公債費比率	15.3	17.0	19.1	18%以上は起債(借金)に県の許可が必要。

監査意見書

地域コミュニティの推進を

平成23年度決算は、『第5次白鷹町総合計画』における「共創のまちづくり」を基本に重点的な予算編成がなされ、各事業とも総括的には、効率・効果的な執行が行

われているものと認められる。

基本財源である町税、地域主権の実現に欠かさない地方交付税の動向には不透明な点も多く、厳しい財政運営が続くと思われる。今後、重要事業が予定されている「第4次白鷹町行財政改革大綱」の改革重点目標を念頭に、将来世代に過度の負担の無い、真に必要なサービスを、安定的、恒常的に対応することが望まれる。

財政状況の見通しをふまえ「共創のまちづくり」の観点に基づく地域コミュニティの推進に期待する。

代表監査委員

小林 泰史

監査委員

遠藤 幸一

歳入

（町の収入）

質疑

不納欠損額が増加しているのでは

議員 平成23年度の不納欠損額が742万2000円で、平成20年度から年々増加している。不納欠損額の状態を伺いたい。

当局 今年度の中身に關しては、固定資産税の金額が多くなったもの。固定資産税は都市計画税と一緒にしている件数で、36件561万円。

デマンド交通の利用状況は

議員 デマンド交通利用料が339万3400円とあるが、利用料と利用者数の推移や利用率を伺いたい。



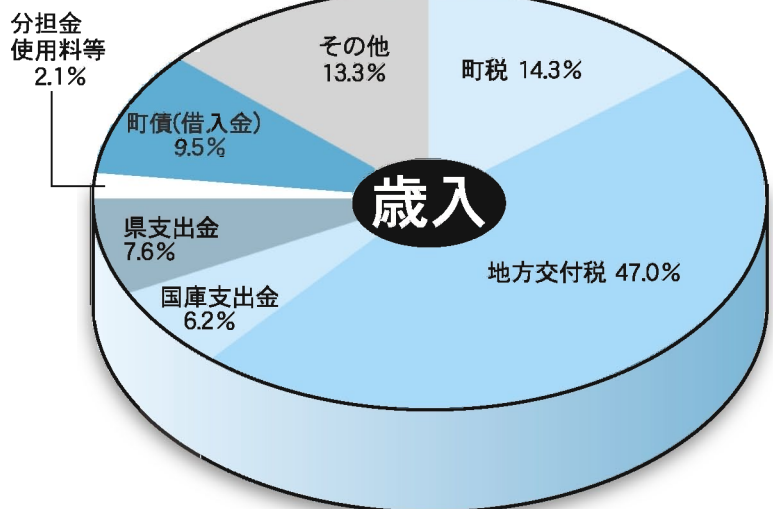
利用者が増えたデマンドタクシー

当局 利用人数は延人数で7700人、昨年より約1600人ほど増加。1日平均の利用者数は31.6人で、前年より6人ほどの増加。利用率は、運行収益とそれら運行費用の収支比率を設定し20%を目標としているが、平成23年度の実績は26.4%だった。

平成23年度一般会計収入決算額一覧

歳入(町の収入)	決算額
町 税	11億9014万円
地方交付税	38億9701万円
国庫支出金	5億1673万円
県 支 出 金	6億2773万円
分担金及び負担金 使用料及び手数料	1億7507万円
町 債 (借入金)	7億8900万円
そ の 他	11億 634万円
合 計	83億 202万円

※万円未満は端数を整理しています。





4月からオープンしたマイルスカイ中山

歳出

（町の支出）

質疑

総務費

不用額が多いのでは

議員

防災諸費の需要費として915万円が

予算化されている。その不用額が896万円と、非常に大きい数値になっている原因は。

当局

3・11の震災対応として、つかみで予算措置したが実際の支出には至らなかった。

フラワー長井線への考
え方は

議員

町は、フラワー長井線に対して補助を

行っている。今後、基金も少なくなるなかで、町はどう考えていくのか。

当局

山形鉄道の経営改善計画に基づき、沿線の2市2町と県で支援していくことを確認している。

民生費

「マイルスカイ中山」の
状況は

議員

多額の補助金を投入してマイルスカイ中山が建設された。現在の利用状況や問題・課題点などは。

当局

特別養護老人ホーム用の29床は、満床の11床は、利用者7名。今後は、利用者と地域との交流などに取り組んでいきたいとのことである。

待機者の状況は

議員

白光園と合わせた待機者の状況はどうなっているのか。

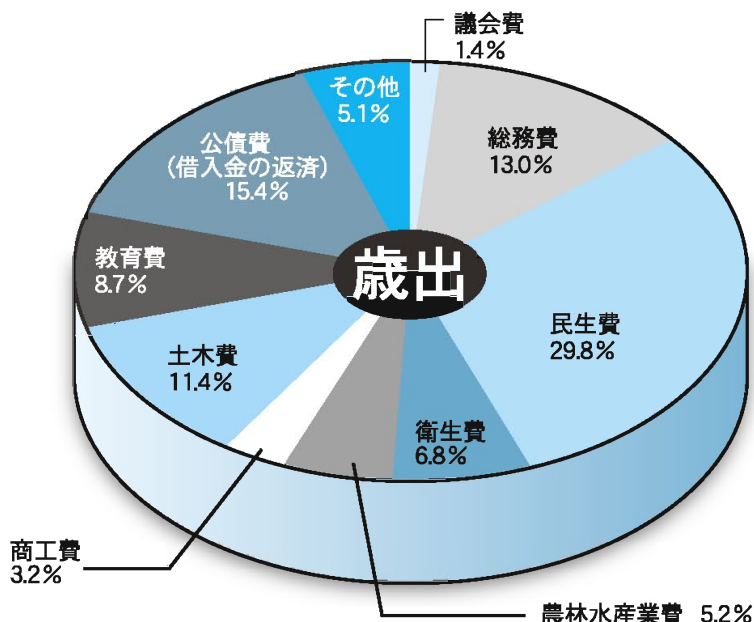
当局

介護度3、4、5で、白光園では約20名、マイルスカイ中山で11名程度ととらえている。

平成23年度一般会計支出決算額一覧

歳出（町の支出）	決算額
議会費	1億944万円
総務費	10億943万円
民生費	23億850万円
衛生費	5億2487万円
農林水産業費	3億9929万円
商工費	2億4637万円
土木費	8億8487万円
教育費	6億7779万円
公債費(借入金の返済)	11億9405万円
その他	3億9449万円
合計	77億4910万円

※万円未満は端数を整理しています。



歳出

（町の支出）

質疑



滝野方面から整備がすすむ東部林道

農林水産費

東部林道の進ちよく状況は

議員 平成16年から始まった東部林道の進ちよく状況を伺う。

当局 滝野側は、来年度にかけて三ツ滝の下流まで整備される予定。貝生側については、交渉をしながらすすめていきたい。

中山間地域直接支払事業の経過

議員 中山間地域直接支払事業の予算は、毎年1億円程度ある。この事業をどのように位置づけていくかは、町の農業の発展に影響すると思う。これまでの事業の経過をどうとらえているのか。

当局 中山間の集落では、担い手が年々減少し、集落の環境整備などに

負担がかかる状況も見られた。地域に合った取り組みがされていると思うので、中山間地域の農業の維持に努めていただければと思う。

衛生費

委託料が増えたのは

議員 火葬場委託料から斎場管理運営委託料に名称が変わった。委託料が多くなった理由を伺う。

当局 名称は、火葬業務管理運営についても指定管理者制をとったことで表記を変更した。委託料は、件数の増加に伴い燃料費や人件費の増を加味したもの。

労働費

勤労者互助会の活動は

議員 勤労者互助会事務委託料50万円とあるが、どのような成果を得ているか。

当局 勤労者互助会の運営事務を商工会へ委託し、勤労者の福利向上をはかっている。平成24年4月1日で、21事業所381人が加入している。



針生の棚田

質疑

商工費

産業フェアの位置づけは

議員 監査意見書に産業フェアは、町外への情報発信が弱いとある。当局

では、町内の各産業間の連携や理解が深まることに期待ともある。産業フェアの位置づけやねらいはどこか。

当局 2回開催したなかでの意見は、また産業間の連携や人的交流も弱いとあり、それらをふまえ今後は町外へも発信していきたい。



昨年の産業フェア

土木費

工事入札に関し予定価格の事前公表は

議員 町は、工事入札に

関し予定価格の事前公表している。国、県よりやめるよう通達があるようだがどうするのか。

当局 平成15年度より行っているが、入札には公正さを維持しながらも入札関係職員の保護の部分もある。今後、入札制度全体に関し検討していく。

降雪量10センチメートル以下の対応

議員 監査意見書に「降雪量10センチメートル以下でも出動している事例が散見される」との指摘があり、その原因を検証すべき。

当局 本当に重く受け止める必要があればならぬ。委託業者との信頼関係を構築しながら状況を説明できるようにしていきたい。

教育費

白鷹高等専修学校補助金について

議員 白鷹高等専修学校は今年60周年を迎えるが、運営は厳しいようだ。町としてどういうスタンスで見ているのか。

当局 私立校だが、町にとって非常に重要な学校。施設設備の老朽化や維持管理費などは今後、学校と相談しながら検討したい。



60周年を迎えた白鷹高等専修学校

消防費

防災ヘリコプターの運航

議員 防災ヘリコプター運航連絡協議会の構成と負担金99万6000円は

どのように決められるのか。

当局 平成10年4月1日すべての市町村で構成。平成23年は8000万円、県が1000万円、構成市町村が7000万円。負担金は平等割20%、人口割りと財政割りが40%で運行している。

議員 有事の際のヘリコプター出動の流れを伺う。

当局 要請ができるのは、町長あるいは消防長と限られている。

アマガ 聞きたい



新野いく子議員

防災危機管理は

新野

3・11の震災後の
防災対応策を伺う。

町長

発電機やトランシ
ーバーなどの配備を
行った。現在 町防災計画の
見直し作業をすすめている。
「減災」の視点で対策を講じ
ていきたい。避難所の確保、
必要な物資、設備などの確保
は町としても支援し、ライフ
ラインが寸断されたとして
も、一定時間は災害対応がで
きる体制を整備したい。

新野

全町で、住民が一
同に日頃からの訓練
を行うことが大切と思うがど
うか。

総務課長

地域の皆さ
んと実践活動
を積み上げていきたい。

東京電力への損害賠償は

新野

原発事故による農
畜産物における経済
的損失の東電からの補償につ
いて伺う。

町長

特に「米沢牛」の
損失が大きい。JA
グループ東京電力原発事故農
畜産物損害賠償対策山形県協
議会が、県内分をとりまとめ
一括請求している。

再生エネルギーへの 取り組みは

新野

国、県も再生エネ
ルギーを全面的に打
ち出している。電力の全量買
い取り制度もあり、太陽光発
電が一番身近で可能と考え
る。住民と行政が一体となり
取り組む必要があると思うが
どうか。

町長

現在「白鷹町エネ
ルギー計画」を作成
中。町のエネルギーは町で消
費するのが理想。

民間で動きがあれば、町は
多いに支援したい。

日本一の紅花の生産を どうする

新野

白鷹町の紅花から
抽出された赤の色
は、「世界一美しい」と言わ
れている。古代からの文化、

伝承、ロマンがあり夢が広が
る。今後、紅花の生産をどう
するか。

町長

本年度は、栽培面
積拡大の支援を行っ
た。来年度は、染料としての
紅花生産をベースとし、新た
に「食」として加工による6
次産業化に取り組み「生産」
と「観光」、紅花生産量日本
一の白鷹町としてPRに取り
組んでいきたい。地域で何か
取り組みがあれば後押ししたい。



日本一の生産量を誇る白鷹町の紅花



コンバインでの稲刈作業

現在までの農業政策に対する評価は

小口 国の政策に振り回され続けてきた本町の水田農業についての所見は。

町長 食料・農業・農村基本法に基づき、所得向上がはかられるよう事業に取り組んできた。農業者が安心して安定した農業経営が

できるよう、長期的視野に立った施策の遂行を国に対して強く望む。

「人・農地プラン」について

小口 プランに対する取り組みの考え方と、作成の進捗よく状況は。

町長 農業の担い手確保と農地集積の課題を解決するため注目される施策である。農地集積、新規就農といっ

た状況を把握できた地域から取り組みを行ってきた。

小口 プラン作成が困難な地域をどうするか。

町長 地域のなかで地域の農地はどうなっているのか、今後どうしていくのかを互いに話し合いながら、方向性を打ち出していきたい。

農業の担い手定着への支援は

小口 県で実施した新規就農者実態調査では、農業所得だけでは家計を賄えないと回答した人が69%を占めていた。就農してから定着するまでの支援も必要では。

町長 農業で生計を立てることは相当な労力を使わざるを得ない状況なのか、地域で守っていただけのような「人・農地プラン」を大切にしていきたい。

小口 本町の中山間地域を含めた地域社会を維持発展させるためにも、新規就農者を含めた担い手の確保が急務では。

町長 新規就農者の地域における貢献は、大なるものがある。新規就農者を含めた担い手を大切にしたい。取り組みを支援していきたい。



議員 小口尚司

平成25年度の予算編成を念頭に、議会として今後の行政施策立案および事業執行にあたり、さらなる充実を求めるため、次の政策提言をしました。



議長より政策提言書が手渡される（9月14日）

政策提言

■子育て支援と介護予防などの充実

子育て支援策のさらなる充実をはかるとともに、若い人たちが安心・安全に出生し、明るく元気に子育てができるよう、情報提供を積極的におすすめりたい。また、お年寄りが元気に安心して生活できるよう介護予防事業の充実に努められたい。

■公共施設などの計画的配置

公共施設及び教育施設の配置については、跡地利用も含めて関係行政委員会との連携を密にし、中長期的な財政状況と地域事情を十分に考慮した計画的な配置について対処されたい。

■防災体制の強化・充実

昨年の3・11東日本大震災を教訓に「防災センター」を核とした町防災計画」を早期に策定し、各地域の自主防災組織との連携を強化するなど、災害に強いまちづくりを努められたい。

■職員の資質向上と行財政改革の推進

各種研修の充実による職員の資質向上をはかるとともに、居住地域の行事に積極的に参加し、職員と地域住民との良好な関係を築くなど、町民ニーズに的確に対応できる人材育成に努め、また、適正な人員配置と経費節減なども含めて行財政運営の改善や事務の効

率化に努められたい。

■地域高規格道路米沢・白鷹ルートについて

荒砥橋の架け替えは具体的進展を見ているものの、町の西部を通る長井・白鷹間の道路計画が具体的に示されていない。関係市町との連携のもと、「促進期成同盟会」を設立するなど、早期実現に向け努力されたい。

■白鷹町産業の活性化策の構築

町産業センターを核とした農・工・商・観連携による第6次産業の確立と遊休農地（特に畑地）を利用した白鷹ブランド製品の開発や販路の拡大をはかるなど、町産業のさらなる活性化と具現化について、なお一層努力されたい。

■クリーンエネルギーの活用について

太陽光、バイオマス、水力などを活用した再生可能エネルギーの、さらなる推進と支援をはかられたい。

条例

■防災会議及び災害対策本部の機能充実をはかる
諮問機関としての防災会議の機能の強化、災害予防及び応急対策で国、県、他市町村を含む関係機関との連携確保、機能の充実をはかるもの。

■水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準を定める
水道法の改正により布設工事監督者を配置する工事の基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定めたもの。

■教育施設の使用料を改正
東陽グラウンド人工芝生等整備により、基準使用料を改正するもの。

■介護保険運営の安定化をはかる
県より交付される交付金を白鷹町介護給付費準備基金に積み立てを行い、介護保険運営の安定化をはかるもの。

請願

審査の結果はどうなった

採択された請願

○地方財政の充実・強化を求める請願

請願者 日本労働組合総連合会置賜地域協議会

議長 菊地 清

全員賛成

不採択になった請願

○消費税10%への増税中止について、意見書の提出を求める請願

請願者 西置賜革新懇話会

代表世話人 今泉 義憲

不採択に賛成 10人 反対3人

反対理由

消費税は逆累進の高い税制だ。また、輸出還付金制度により消費税総額の3割弱の金額が輸出大企業へ還付されている。

社会保障と一体的な制度改革の全体像は見え、低所得者や中小企業への負担緩和策なども積み残されたままである。増税による税収増よりも消費の減退・買い控えが懸念される。



松くい虫の地上防除（羽黒の森を守る会）

意見書提出

地方財政の充実・強化を求める意見書

○被災自治体に対する復興費は、自治体の財政が悪化しないように施策を十分に講ずること。また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別計上すること。

○少子・高齢化に対応した一般行政費の充実、農林水産費の再興、環境対策など、財政需要を的確に取り入れ、2013年度地方財政計画を策定すること。

○地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再配分機能の強化など抜本的な対策を講ずること。

提出先

内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 経済産業大臣
内閣府特命担当大臣

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

○二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全などを推進する市町村の役割をふまえ、「地球温暖化対策のための税」の一定の割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
財務大臣 総務大臣 国家戦略担当大臣
農林水産大臣 環境大臣 経済産業大臣

人事

固定資産評価審査委員会委員



松山義彦 氏(再任)

9月25日で任期満了となる白鷹町固定資産評価審査委員会委員に松山義彦氏が再び選任されました。

人権擁護委員候補者
蒲生成子 氏(再任)

教育委員会委員 教育委員会委員



佐藤日吉 氏(再任)



岡田 勉 氏(再任)

9月30日で任期満了となる白鷹町教育委員会委員に岡田 勉氏並びに佐藤日吉氏が再び任命されました。

総務厚生常任委員会

子育て支援拠点施設の現地調査



現地調査（子育て支援拠点施設）

9月11日に、本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査を行いました。

「消費税10%への増税中止について、意見を求める請願」は不採択とし、「地方財政の充実・強化を求める請願」は採択しました。

①地域防災計画見直しの中間報告
 ②庁舎等公共施設再配置計画の中間報告
 ③地域情報化計画の中間報告
 ④子育て支援拠点施設整備事業の状況
 などに関し各担当課から説明を受けました。子育て支援拠点施設の建設現場に向き調査を行いました。

産建文教常任委員会

東陽グラウンドの現地調査



現地調査（東陽グラウンド）

9月12日に、本委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

①町民保養センター施設の現況
 ②除雪計画（素案）
 ③学校給食共同調理場の民間委託
 ④統合中学校準備状況
 ⑤東陽グラウンド人工芝生新設工事
 などに関し各担当課から説明を受けました。

統合中学校整備状況では、白鷹町文化交流センター「あゆむ」に展示してある統合中学校の制服の説明を受けました。

東陽グラウンド人工芝生新設工事では、人工芝生、夜間照明やクラブハウスの現地調査を行いました。

鮎貝まちづくり事業 調査特別委員会

9月7日に本委員会が開催され、①平成23年度の保留地処分状況②24年8月末の保留地処分状況③今後の組合解散までのスケジュールなどの説明を受けました。

7月22日に開催された組合の総会で、町に寄付を行う旨の決議がなされたことと残保留地が18区画であるとの報告がありました。

残保留地の処分に關し、町は引き受ける方向で検討していて、今後、組合から正式な要請があれば町の対応を決定し、議会に報告したいとの説明を受けました。



急ピッチで建設がすすむ子育て支援拠点施設
(鮎貝・四季の郷)

大規模養豚場悪臭問題 特別委員会

9月7日に本委員会が開催され、今年度の悪臭問題への取り組みと改善指導の状況や臭気測定などの報告を受けました。

白鷹町土地改良区からは、農業用排水路への排水承諾を解除すること。また、町としての今後の取り組みは、臭気測定の継続実施、事業者との継続的協議、地元住民、行政、関係者による改善に向けた話し合いの継続などの説明を受けました。



臭気測定風景

議会広報特別委員会

山梨県昭和町に学ぶ

7月18日、昭和町議会を訪問し、議会広報の研修を行いました。

平成23年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した昭和町議会は、議会改革にも積極的に取り組まれ「議会広報誌」を通し、住民と議会の関係を深めようとしているようでした。



昭和町議会議場

追跡

— あの質問のゆくえ —

ソフト小村の実態は

ソフト小村の使用状況はどうなっているのか。また、入居事業所の職種制限を緩和する考えはありますか。

平成21年9月議会

町長答弁

産業の構築も念頭に

経済不況の影響もあって空きがある状況ですが、白鷹にあった活用の方法、産業の構築も念頭におきながら、新たな取り組みも検討していきます。

どうなった

6棟すべて入居

平成22年6月定例会において、情報産業のほか、研究開発や新事業の創出など、地域経済の活性化をはかると共に、施設の積極的利用と雇用の拡大をはかるため、個性ある地域情報産業をつくる白鷹ソフト小村条例の一部を改正しました。現在は6棟入居です。



白鷹ソフト小村



真剣な表情の傍聴席

議会開催時には、いつもインターネットでその内容を拝見しています。鋭い質問や良く勉強しているなあと感心する質問もあり、興味深く見ていたところです。しかし、一般質問では質問者が2人などという数字を見るにつけ非常に寂しい気がしてなりません。数より質ということもあるかもしれませんが、ベテラン議員の鋭い舌鋒も見てみたいものです。町政に対するチエツク機能として、まずは、活力ある議会であって欲しいと望むところです。

(60代男性)

町民の声



編集後記

実りの秋といいますが、酷暑が長く続いた夏の天候により、農作物の作況に与える影響が心配されるところです。

地方議会では、議会改革に取り組んでいる状況があります。当議会でも、今回から通年の予算特別委員会で補正予算を審議しました。町民の方への情報開示や説明責任が果たせればと思います。

国政に目を転ずれば、「こころざし」よりも「勝利」が優先される政治行動が多いように感じられます。

「議会だよりしらかか」は議会広報誌ではなく議会広報誌として、町民の方と議会を深くつなぐものを目指したいと思えます。(関)

発行責任者・編集 青木 彰榮

広報委員

委員長 関 千鶴子
副委員長・編集長 山田 仁
委員 樋口与一朗
委員 田中 孝
委員 新野いく子
印刷・詢梅津印刷